

# かごしまの教育21

## 謹賀新年

平成23年元旦



仕事始め式で、年頭のあいさつをする原田教育長（1月4日）

## (1月号)contents (目次)

2011年 JAN

コーナー		頁	掲 載 事 項	執筆者・担当課
かごしま教育NOW		1	ありがとう！ 開所40周年 ～開所40周年記念式典を終えて～	県立 青少年研修センター
		2	鹿児島県図書館大会	県立図書館
		3	インフルエンザの予防と対策について	保健体育課
		4	平成22年度優秀教職員表彰	教職員課
		5	地域が育む「かごしまの教育」県民週間 ～平成22年度の取組②教育委員会・学校編～	総務福利課
シ リ ー ズ	挑戦！我が校の教育	7	出会い・ふれあい・認め合い・つながる仲間 自分やみんなを大切にする子どもの育成をめざして ～参加・体験的な学習と認め合う学級づくりを通して～	肝付町立国見小学校
	人権同和教育情報	8	文化財から学ぶ	文化財課
	本年度の重 点課題情報	9	ネット上のいじめ問題への具体的な対応	義務教育課
	いじめの解消 を目指して		感動を共に	十島村立悪石島小学校 教諭 上奥 剛
教職員 &校長の声	若いこだま			
郷土の文化財 69		10	県指定文化財（平成22年4月23日指定） 「御里窯跡出土品」	文化財課
情報の部屋		11	○今月の「おすすめの本」コーナー 県立図書館 ○今月の「お知らせ」 県立図書館、県立奄美図書館、県立博物館、かご しま県民大学中央センター、県立奄美少年自然の 家、上野原縄文の森	各教育機関等

※ それぞれのページに出てくるアドレスや学校名に指印がでてきたら、クリックしてください。関係ホームページへジャンプできます。



# ありがとう！

## 開所40周年

### ～開所40周年記念式典を終えて～

#### 県立青少年研修センター

#### 一 開所40年のあゆみ

県立青少年研修センターは、県の明治百年記念事業の一環として、昭和45年に「本県教育の伝統を生かし、青少年の徳性や情操を培い、自主性や社会性を身につけさせ、心身の鍛錬を図り、もって、その健全育成に寄与すること」を目的として建設され、同年10月5日に県知事・県議会議長を始め、多くの参列者のもと開所式が行われました。

当センターは、鹿児島市宮之浦町（旧吉田町）の標高380メートルの高台にあり、東には勇壮にそびえる桜島を望みながら、南には錦江湾や開聞岳、南西には金峰山、東シナ海などを一望することができます。

このような広大で豊かな自然に恵まれた環境の中で、青少年のための社会教育施設として、県内外から広く利用者が訪れており、平成18年1月には研修延人員300万人を突破しました。現在、小・中・高・特別支援学校等の集団宿泊学習や部活動の研修会、指導者向けの実技研修会、企業の新入社員研修など、県民の利用促進を図っています。

#### 二 記念式典の概要

平成22年11月20日に、当センター講堂において、県民生活局長、県議会文教警察委員会委員長、県教育委員会や学校関係者、歴代所長など多数の来賓を迎え、記念式典を盛大に開催しました。



式典であいさつする真邊所長

式典では、真邊所長が、開所時の教育理念を今後とも胸に刻んで継承していくとともに、現代社会が抱えるニーズや課題、教育の動向を踏まえながらセンターの使命と役割をしっかりと果たしていくとの決意を述べました。

また、原田県教育長は、県内の青少年社会教育施設の中核施設、「センター オブ センター」としての使命を果たすことの重要性を強調しました。

さらに、利用者代表の言葉として伊敷台小学校6年の宮元裕都君が、「当センターの主催事業に参加して、今までの自分とは違う自分を発見することができた、家族の絆をさらに深めることができた」など、利用して学んだことを発表しました。

最後に40周年を振り返るDVDを視聴後、所歌を斉唱して記念式典

を無事に終えることができました。

#### 三 主催事業の紹介

当センターには、学校等の集団宿泊学習等の受入指導事業と当センターが主催して行う主催事業等があります。主催事業等では、「施設開放事業」「家族・グループで楽しむいきいき体験事業」「子ども育成事業」「指導者育成事業」「受入促進事業」「連携事業」を実施しています。特に「子ども育成事業」では小・中・高校生50人を対象に夏と冬の年2回キャンプを行うっており、野外炊事や遠行、ク



悠遊学舎「わくわくサマーキャンプ」での白銀坂遠行

ラフト活動など、当センターの豊かな自然を活用した体験活動を実践しています。

当センターは、今後とも、広く県民に親しまれるよう、その使命と役割を果たしていきたいと思えます。

△記念式典の様子▽

<http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/seisyoken/houkokoku/kaisyo40syunennkinenshikiten22.html>

# 鹿児島県図書館大会

県立図書館

## 一 はじめに

去る11月17日（水）、かごしま県民交流センターで平成22年度の県図書館大会を開催しました。

県図書館大会は、県下をあげて読書活動を推進するため、県教育委員会が主催し毎年開催しているものです。今回は、公共図書館や学校図書館の関係者を中心に、720名という例年を大きく上回る参加がありました。これは、2010年が国民読書年ということで県民の読書活動に対する意識が高まっていたことが背景にあると思われます。



【開会行事】

## 二 大会の様子

今回の大会テーマは、「見つめ直す、図書館の力く文字・活字文化を継承する拠点として」としました。図書館の役割の一つに、文字・活字文

化を継承していくというはたらきがあります。言葉にすると難しい感じになりますが、「図書館の力を見つめ直す」ためには大切な側面です。以下、大会の様子を報告します。

### ○パネルディスカッション

日高孝氏（枕崎市教委）、東川隆太郎氏（かごしま探検の会）、北之園千春氏（奄美図書館）の3氏をパネリストに討議、質疑応答などを行いました。

### ○分科会

幼稚園  
読書グループ部  
会、公共  
図書館部  
会、小学  
校部会、  
中学校部  
会、高等  
学校部会  
の5分科会  
で、それぞれ  
例発表や討議  
を行いました。

### ○講演

（財）文字・活字文化推進機構理事長の肥田美代子氏を講師に迎え、「図書館のさらなる充実を求めて」と題する講演を行いました。

肥田氏は、童話作家ですが、元国会議員としても「子どもの読書活動推進法」や「文字・活字文化振興法」の制定、「国民読書年国会決議」の採択などに中心的な役割を果たしてこられました。



【パネルディスカッション】

これら  
の豊富な  
経験に基  
づく熱の  
こもった  
お話に、  
参加者は  
みな感銘  
を受け、  
明日から  
の読書活動  
推進に希望  
と意欲を大  
く膨らませ  
ることでし  
た。



【肥田美代子氏の講演】

## 三 おわりに

平成22年は、国民読書年、図書館法施行60周年、鹿児島県における親子読書運動50周年など、大きな節目の年でした。これらの取組を一過性のものでせず、今後も継続して取り組んでいくことが大切です。

県立図書館としまして、各市町村図書館（室）や学校図書館と手を取り合い、図書館の充実と読書活動推進に努めるとともに、県下全域に読書を通じた感動の輪を広げていきたいと思っております。

【問い合わせ先】  
県立図書館  
奉仕課企画指導係  
電話099(224)9514

# インフルエンザの予防と対策について



保健体育課

## 一 はじめに

平成21年5月下旬、WHO（世界保健機構）が、メキシコで豚インフルエンザに感染した疑いがある死者や患者が多数出たことを発表し、その後、5月中旬には国内で、6月中旬には鹿児島県内で初の新型インフルエンザ（H1N1）患者が確認されました。

各学校においては、夏季休業に入った7月下旬頃から集団発生が見られるようになり、多くの学校が臨時休業（学級閉鎖、学年閉鎖、休校）を行いました。年度途中から、季節性インフルエンザと同じ対応でよいということになりましたが、これまで、県立高校では臨時休業の経験がほとんどなかったことから、対応に苦慮する状況となりました。

学校では、これまで以上に、うがいや手洗いについて、指導を強化しています。学校を訪問した際に、児童生徒に手洗いの手順を実践してもらおうと、石けんを使い、手のひらのみならず、指と指の間や爪や手首も含めて、正しい手洗いの方法を習得しています。学校の指導と共に児童生徒自身もその大切さを改めて認識し、実践した結果です。このことは、感染症の予防のみならず、食中毒の予防にもつながっており、平成21年度、学校給食における食中毒件数が全国で1件にとどまりました。児童生徒の実践が自らの健康を守る結果

となつていきます。

## 二 予防

インフルエンザを予防するためには、次のことに注意することが大切です。

### ① 手洗い・うがい

手洗い・うがいは、外出後、食事の前だけでなく、可能な限り頻回に行いましょう。また、ウイルスが粘膜を通して感染するため、極力鼻や口などを触らないよう努めましょう。

### ② 咳エチケット

咳やくしゃみ等の症状のある人はマスクをつけましょう。マスクがないときは、ティッシュやハンカチで口と鼻を押さえるようにしましょう。

### ③ 予防接種

インフルエンザが流行する前に予防接種を受けることが大切です。ただし、予防接種を受ければ、必ずインフルエンザにかからないというわけではありません。かかった場合、重症化防止に有効とされています。

### ④ その他

換気を行うことや人混みを避けるといったことも大切です。また、感染しない体つくりのために、規則正しい生活（栄養・運動・睡眠）をし、十分に抵抗力を付けておくことも大切です。

## 三 インフルエンザにかかったと思ったら

38度以上の発熱があり、咳や咽頭痛等の急性呼吸器症状を伴う場合にはインフルエンザに感染している可能性があります。かかりつけの医師に相談したり、医療機関で受診しましょう。



## 四 おわりに

平成22年12月に、出水市で死亡したツルから高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1）の遺伝子が検出されました。感染した鳥との濃厚な接触等の特殊な場合を除いて、通常では、ヒトには感染しないと考えられています。しかし、いつ強毒性の新型インフルエンザがヒトの間で流行するかわかりません。今回の新型インフルエンザ（H1N1）の流行による経験を教訓にして、正しい情報のもとに、冷静な対応を心がけたいものです。

昨年、非常に多かった臨時休業は、今年度は今のところ少ない状況ですが、しばらくは流行する時期ですので、引き続き、学校のみならず、家庭、地域等で予防に努めてください。今後、子どもたちが自分の健康を自分で守る実践活動ができるように継続した指導が必要です。（参考文献：国立感染症研究所インフルエンザQ&A他）







新城小学校：郷土料理作り



粟ヶ窪小学校：竹とんぼ作り



出水小学校：ふれあい活動



牛根小学校：昔の遊び体験

伝統や文化の継承

高齢者や地域住民との交流

広報活動の工夫



和泊町教育委員会：横断幕



轟小学校：校門前の看板

# ..... 挑戦！我が校の教育 .....

出会い・ふれあい・認め合い・つながる仲間  
自分やみんなを大切にする子どもの育成をめざして  
～参加・体験的な学習と認め合う学級づくりを通して～

平成21・22年度文部科学省人権教育研究指定校

## 肝付町立国見小学校



落葉の秋を教児で楽しむ1年生

### 一 本校の研究について

本校は、国見山系が広がる自然豊かな環境にあり、児童数92名の小規模校です。子どもたちは、明るく素直な反面、人間関係が固定化しがちで、コミュニケーション能力が不足したり、物事に対して受動的だったりする傾向が見られました。

そこで昨年度、本研究指定を受けると同時に、「出会い・ふれあい・認め合い・つながる仲間」と設定し、参加・体験的な学習と認め合う学級づくりを通して自分やみんなを大切にすることを育成を目指すことにしました。

### 二 主な研究の内容

研究・実践に当たっては、次の3つの仮説を立てて取り組みました。

#### 【仮説1】の取組から

多くの人と出会い、交流し、これまでの自分を振り返ったり、これからの自分の生き方を考えさせたりする活動を展開するならば、自他共に大切にすることを育てることができるのではないかと。

具体的には、総合的な学習の時間や生活科の時間に、保育園、長寿大(低学年)、鹿屋養護学校(中学年)、星塚敬愛園(高学年)等との交流学習を通して、偏見や差別などの人権に関する問題について考えさせるようにしました。日頃見過ごしがちな身近な差別について調べ、確かな知識を得ることで、子どもたちは、これ

までの自分を振り返り、これからの生き方を考える良い機会となっております。

#### 【仮説2】の取組から

相手の立場に立った見方や考え方を共感的に受け止める想像力や感受性を養い、一人一人を大切にしたい学級づくりをしていくならば、お互いを認め合える仲間づくりができるのではないかと。

具体的には、総合単元的な道徳指導への取組と、特別活動等での参加型学習による仲間づくりの活動を中心に実践することにしました。特に、仲間づくりの活動では、人権について単なる知的理解にとどまらず、子どもが主体的に感じたり、気付いたりできるような活動を取り入れることで、互いのよさや違いに気付き、理解しようとする態度の育成を目指しました。

道徳の時間の充実や「仲間づくり」



縦割り班での仲間づくり活動

を意図した様々な体験活動を通して、子どもたちは徐々に、お互いの考え方や立場を理解し、

協力し認め合えるようになってきています。

### 【仮説3】の取組から

各教科において、一人一人を認め合う授業や活動を展開するならば、自他の良さに気付く自信をもつて生きようとする子どもを育てることができるのではないかと。

具体的には、体育の時間にチームで作戦を立てたり声をかけたりしながらチームの雰囲気高め、得手・不得手にかかわらず、楽しく活動できるようにするなど、日頃から全教科において人権尊重の視点に立った授業を展開したり、子どもが主体的に考え、学び合う場を設定したりするようにしています。また、児童生徒支援加配を中心に全校態勢で個別支援に当たり、一人一人を大切にしたい授業に努めるようにしました。個に応じた支援により、児童の学習意欲も高まってきました。

### 三 成果と課題

その他、環境づくりや地域・家庭との連携など、児童の人権感覚をはぐくむために様々な取組を行ってきましたが、一番の成果は、職員の人権に対する意識が高まってきたことです。子ども間でもお互いの良さを認め合い、協力し合う場面が増えてきました。時には、気持ちよく過ごせずにいる子どもも見られますが、自己肯定感の育成と人間関係づくり、小中連携等の課題も含めて、今後も自他を大切に児童の育成に取り組んでいきたいと思っています。

## 文化財から学ぶ

### 文化財課

文化財は、我が国の歴史・文化等を正しく理解し、私たちの地域を深く知るために欠かせないものです。

本県には、市町村立の歴史民俗資料館等が、数多く設置されており、そこでは、地域の人々に郷土の歴史や文化財に関する知識や理解を深めてもらうため、昔の人々が日常生活の中で使用していた民具・農具などや、当時の人々の生活を知ることができる様々な歴史資料が展示・公開されるとともに、学校教育活動でも広く利用されています。

こうした文化財から、私たちは、歴史的な事実について知るだけでなく、先人の暮らしに思いをめぐらすことで、生活していく上での知恵や技術、様々な工夫や努力があったことを読み取ることが出来ます。また、このようなねらいを果たすために、各資料館等では、

古地図や古文書などの歴史資料の取扱いについては、人権意識を持つて対応しています。

学校教育においても、人権への配慮が求められる場面が数多くあります。例えば、児童生徒の作品等を掲示する際、一人一人の作品等にはこれまでの生活や思いがたくさん詰まっているため、それらの掲示についても配慮が求められるのです。子どもたちの思いを反映する掲示によって、子ども自身が「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになり、人権が尊重される学校・学級の環境づくりにつながっていくのではないのでしょうか。

文化財を通して、当時の生活に思いをめぐらせながら学ぶことが、子どもたちの豊かな心をはぐくむ教育の創造へとつながることを願っています。



再現民家  
(始良市歴史民俗資料館内)

## 「平成22年度課題別研究会」部落問題学習及び地域とつながる人権教育

同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決をめざす教育を創造していくために、指導内容・方法の改善・充実を図る研修の機会とします。また、学校・家庭・地域が共に人権感覚豊かな子どもたちを育てていくという視点に立ち、その協力や支援、連携を深めていくために、講演や実践発表、研究協議等を通して人権教育の充実を図ります。

- 1 日時：1月26日(水) 10:00～16:30
- 2 場所：開会行事・第1分散会場 霧島市民会館 (午後からは1～3の分散会になります)  
第2分散会場 霧島市シビックセンター  
第3分散会場 霧島市総合福祉センター
- 3 対象：教職員、行政職員、保護者及び地域住民
- 4 内容：講演、特別報告、実践発表1～3、研究協議
- 5 申し込み方法等

教職員及び行政職員は各所属を通じて、人権同和教育課へ申し込んでください。保護者及び地域住民のみなさんは、当日会場にお越しください。入場料は無料です。

### 6 その他

詳細については、開催要項をホームページに掲載しております。

<http://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/jinken/jinken/kadaibetukennsyuu.html>

#### <申込み及び問合せ先>

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

鹿児島県教育委員会 人権同和教育課

TEL 099-286-5364 FAX 099-286-5677 E-mail: [doukyoka@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:doukyoka@pref.kagoshima.lg.jp)

# いじめの解消を目指して

## ネット上のいじめ問題への 具体的な対応

### 義務教育課

児童生徒の携帯電話利用の増加に伴い、「パソコンや携帯電話で、誹謗・中傷やいやなことをされる」「いわゆるネット上のいじめが増加し、平成21年度問題行動等調査では、本県においても、電子メールやプロフィールサイト（自己紹介サイト）を使いたいじめが、37件報告されています。

ここでは、ネット上のいじめ問題の未然防止と発生した場合の具体的な対応等について述べます。

#### 一 未然防止のための具体的指導事項

- (1) ネット上は公の場です。  
情報を発信する際に、ルールやマナーを守る必要があります。暴言は遣いませぬ。
- (2) 公の場にふさわしくない乱暴な言葉は遣いませぬ。  
ネットでのやりとりでは、微妙なニュアンスが伝わりにくいので、日常会話以上に言葉遣いに気を付ける必要があります。
- (3) 個人情報の管理に十分気を付けます。  
顔写真、氏名、電話番号、住所などの個人情報が第三者により、ネット上で公開され、いじめに利用される場合がありますので、管理に気を付ける必要があります。

ります。

二 ネットいじめ発生時の対応  
メールによるいじめが発生した場合は、メールを保存し、送信元のアドレスを確認することが大切です。いつ、誰から、どのような内容のメールが何通届いたのかを、被害を受けた児童生徒に確かめてください。

なお、同じ内容を不特定多数の人に転送するよう求めるチェーンメールについては、個人を誹謗・中傷する内容が含まれている場合は、転送することで、いじめの加害者になってしまうことから、絶対に転送しないことや、トラブルの元になることから、チェーンメールを送ってきた人に対して、絶対に返信しないことを指導してください。

県教育委員会では、平成19年度に「家庭（保管）用ネットいじめ対策リーフレット」を作成し、配布しました。現在は、県PTA連合会版として配布され、ホームページにも公開されていますので、参考にしてください。

<http://www.j-bee.com/kagokenpta/nejimeleaf.pdf>

## 若いこだま



### 「感動を共に」

十島村立悪石島小学校

教諭 上奥 剛

1年9か月前、新規採用教職員として赴任したのは、十島村の悪石島小学校でした。十島村がともも人口の少ない村だということは知っていたので、これからの生活に少し不安を抱きました。しかし、

そんな不安を和らげてくれたのは、港で迎えてくれた子どもたちの明るい笑顔と、島民の方々の温かさでした。港で子どもたちが披露してくれた力強いソーラン節は、今もはつきり覚えていきます。

私は、1・2年生の複式学級の担任になりました。他県で教員経験はありましたが、複式学級での授業は想像以上に難しいものでした。1年生に指導をすれば、2年生までが1年生の授業に興味を示し、2年生に指導をすれば、1年生から質問をされるなど、「このように指導でよいのか。」と疑問をもちながら毎日进行してました。そのような私に、授業について基礎から教えてくれたのは、先輩の先生方でした。研究授業での指導案検討、授業研究はもちろん、

普段の授業でも指導していただきました。校務分掌でも、迷惑をかけることが多かったのですが、先輩方の支えがあったからこそ乗り越えることができました。

忘れられない出来事の一つに、一昨年の皆既日食があります。学校の先生方が取材を受けたり、子どもたちがインタビューを受けたりすることも度々ありました。授業と取材と交流会の準備で目の回るような忙しさでしたが、一生懸命取り組む子どもたちと過ごす毎日とはとても充実していました。

残念ながら、当日は悪天候のため、皆既日食を観測することはできませんでした。しかし、私は、漆黒の闇となった6分30秒に感動しました。そして、この感動を子どもたちと分かち合えたことを幸せに思いました。

かわいい子どもたちや保護者、島民の方々と過ごす中で、教職に就いた喜びを感じています。この思いを胸に刻み、今後さらに邁進していきたいと思えます。

## シリーズ 郷土の文化財 ⑥9

### 県指定有形文化財

(平成二十二年四月二十三日指定)

### 「御里窯跡出土品」

おさとがまあとしゅつどひん

御里窯跡は、始良市加治木町仮屋町に所在する朝鮮の技術によって造られた17世紀前半頃の窯跡です。

本窯跡は、慶長・元和期の約12年間という限られた期間内に、島津義弘の御庭窯として稼働しました。

平成7年度及び12年度に、加治木町教育委員会が、窯跡の内容把握を目的とした発掘調査を行いました。

発掘調査では、窯本体は確認されませんでした。したが、窯体の破片や窯道具、焼き損じた陶器等を廃棄した物原が発見されました。

出土品の主な器種は、茶道具の茶入れです。出土した茶入れは、高さ7〜8センチで、製作技法等の特徴から次の2種類があります。

I類は、器壁の厚い付け底技法によって作られた粗野感をもつ茶入で、II類は、水引轆轤による技巧的な薄作りの茶入れです。

このうち、付け底技法で粗野感のあるI類は、始良市宇都窯、鹿児島市堅野窯でも製作

されており、薩摩焼の茶入の特徴の一つであると考えられています。

御里窯が稼働した、慶長・元和期は、関ヶ原の戦いの戦後処理として大名の転封や取り潰しが盛んに行われた時期でした。

島津義弘は、中央の茶会で人気のあった「薩摩の茶入」を薩摩存亡の外交に係る献上品や贈答品としていたものと考えられます。このことが、薩摩で茶道が広まる契機となったとも解釈でき、御里窯跡の出土品は、歴史的にも重要かつ貴重です。

問合せ先 始良市教育委員会  
電話 0995(62)2111



御里窯跡の茶入  
(17世紀前半頃)

# 「情報の部屋」

子どもたちにお勧めの本を紹介します。 **鹿児島県立図書館提供**

## おすすめの本

小学校低学年におすすめです。

一人前のゴリラになるために、最初の試練に挑戦するウーゴ。山を越えておばあちゃんの家へ初めてのおつかいに出発。道に迷って涙がこぼれたときに助けてくれたのは…。ワクワク、ドキドキの道中や達成感が、読み手の興味をそそる一冊です。

**図書名**

**ゴリラのウーゴひとりでおつかい**  
磯みゆき・作    つちだよしはる・絵  
(ポプラ社)



小学校中学年におすすめです。

好奇心旺盛でわんぱく盛り四年生。まわりにいる大人や自然が二人をいつも見つめている。いっぱい泣いて、いっぱい笑って、ゆっくり大きくなればいい。山あいの町の日常を少年の視点で描きつつ、様々なものを受け継いでいくことの素晴らしさを子どもたちに実感させてくれる一冊です。

**図書名** **ゆっくり大きくなればいい**

最上一平 作    武田美穂 絵

(ポプラ社)



小学校高学年におすすめです。

マラソンの金メダリストのシューズを数多く手がけた職人の実話。選手の力を最大限に発揮させ、勝たせてやりたいという情熱は、日々変化する選手の足のサイズや筋肉、道の起伏や堅さ、そして心の状態までも把握し、手作業で最高のシューズを作ります。選手との歴史的な思い出も綴った感動の一冊です。

**図書名** **金メダリストのシューズ**

大野益弘 著

(ポプラ社)



中学生におすすめです。

妖精の女王ポティラと、内気な少年アーサーの冒険ファンタジー小説です。楽しい話の展開の中にも、環境問題、生や若さへの執着について織り込まれ、時間の性質に関する会話も繰り広げられ、中学生にとっても興味深い内容です。どんどん読み進めていける一冊です。

**図書名** **ポティラ 妖精と時間泥棒**

コルネリア・フンケ 著    浅見昇吾 訳

(WAVE出版)



### 【県立図書館】

### 休館のお知らせ

- ①期 間    平成23年1月11日(火)～平成23年1月31日(月)
- ②内 容    図書館情報システム更新及び特別整理のため休館します。
- ③備 考    システム更新後は、次のようなサービスが提供できるようになります。
  - ・県内22市町公共図書館、11大学附属図書館等の蔵書の検索と相互貸借の申込
  - ・利用者向けインターネットパソコン及び商用データベースの利用
  - ・インターネットによる図書予約(平成23年4月1日から)

\* 担当・問い合わせ先

県立図書館奉仕課企画指導係

鹿児島市城山町7-1

Tel 099-224-9514 fax 099-224-5824

## 【県立奄美図書館】

### 放送大学鹿児島学習センター・県立奄美図書館共催・かごしま県民大学 中央センター連携講座「奄美公開特別講義」

- 1 日時 1月9日(日) 13:30~15:00
- 2 場所 奄美図書館 4階 研修室
- 3 講演 第1部「身のまわりの不思議」  
講師 奄美市立金久中学校前校長・  
放送大学鹿児島学習センター非常勤講師 喜島 義郎氏  
第2部「地球環境を守る教育～マイクロスケール化学～」  
講師 放送大学副学長 荻野 博氏

＜申込み及び問合せ先＞  
県立奄美図書館  
TEL : 0997-52-0244 FAX : 0997-52-9634  
E-mail : ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp



## 【県立博物館】

### 企画展「植物のピース「ジュズダマ」と くらす」

ジュズダマのなかまの植物をとりあげ、世界で、日本で、そして鹿児島で種子のピースを使ってものを作る人たち、薬や食べ物にする人たちについて紹介します。

- 1 期間 1月16日(日)まで
- 2 時間 午前9時～午後5時
- 3 場所 県立博物館1階企画展示室

### 企画展「かごしま大カルデラ」

鹿児島には、加久藤、始良、阿多、鬼界の4つの巨大なカルデラがあります。これらのカルデラを造った噴火や噴出物の特徴、私たちの生活との関わり等について紹介します。

- 1 期間 2月5日(土)～4月3日(日)
- 2 時間 午前9時～午後5時
- 3 場所 県立博物館1階企画展示室

### 博物館天文教室

毎月第2・4日曜日に実施します。

- 1 時間 ①10:30～ ②14:30～
- 2 場所 宝山ホール4階プラネタリウム
- 3 料金 小・中学生 110円  
高校生以上 200円
- 4 内容  
1月 「光る誕生星座かざり」  
2月 「惑星の素顔をさぐる立体模型」

### 移動博物館事業 「博物館がやってきたin志布志市」

鹿児島の天然記念物や志布志市の自然などの展示や星空観察会、志布志市の自然に関する講演会など様々な博物館活動を行います。

- 1 日時 2月24日(木)～27日(日)
- 2 場所 志布志市文化会館

### 博物館科学教室

#### ◆「化石レプリカを作ろう」

- 1 日時 2月6日(日) 14:00～16:00
- 2 場所 県立博物館3階研修室
- 3 料金 100円

#### ◆「磨いて作る宝の石」

- 1 日時 2月20日(日) 14:00～16:00
- 2 場所 県立博物館3階研修室
- 3 料金 100円



### 「プラネタリウム冬編」

秋の夜空に見られるオリオン座などの特徴的な天体を紹介します。また、星物語「星になったケンムン」で冬の星空のロマンを語ります

- 1 期間 2月27日(日)まで毎日(約30分間)
- 2 時間 ①11:00～ ②13:30～ ③15:00～
- 3 場所 宝山ホール4階プラネタリウム
- 4 料金 小・中学生 110円  
高校生校生以上 200円

＜申込み及び問合せ先＞ 県立博物館 TEL 099-223-6050  
<http://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/>

## 【かごしま県民大学中央センター】

### 「かごしま県民大学連携講座」

高度化・多様化する県民の生涯学習ニーズに対応するために、当センターと大学等の高等教育機関、県及び市町村、民間教育機関、NPO法人、自主活動グループ等が連携して、生涯学習の機会を広く提供するために講座を実施します。

#### ◆ 各講座の詳細

- (1) 講座名：【放送大学との連携講座】「奄美公開特別講義」
  - ① 日時：1月9日（日）13:20～14:45
  - ② 場所：県立奄美図書館 講義室
- (2) 講座名：【鹿児島国際大学との連携講座】「鹿児島歴史の旅～島津藩の十大ニュース～」
  - ① 日時：1月29日（土）12:50～17:00
  - ② 場所：県民交流センター 県民ホール
- (3) 講座名：【県立青少年研修センターとの連携講座】「春を感じる『うぐいす笛』づくり」
  - ① 日時：2月5日（土）10:00～12:00
  - ② 場所：県民交流センター 大研修室2
- (4) 講座名：【鹿児島国際大学との連携講座】音楽発表会（生涯学習講座生）
  - ① 日時：2月19日（土）13:00～17:00
  - ② 場所：県民交流センター 県民ホール
- (5) 講座名：【上野原縄文の森との連携講座】「9,500年前のムラに生きた人々」
  - ① 日時：2月26日（土）13:30～15:00
  - ② 場所：県民交流センター 中研修室2

#### <申込み及び問合せ先>

かごしま県民大学中央センター学習推進係（電話 099-221-6604）  
<http://www.kagoshima-pac.jp/jp/center/info/shogai/index.html>

### ファミリー映画会

#### 「おくいびと」

県視聴覚ライブラリーが保有する長編映画教材を上映することで、映像文化に親しむ機会を提供するとともに、ライブラリー教材の利用促進を図ります。同内容の映画会を午前と午後に行います。

- 1 日時 1月22日（土）  
①11:00～ ②14:00～
- 2 会場 県民交流センター 6階 映画シアター

### 「アニメシアター」

県視聴覚ライブラリーが保有する短編アニメ映像教材を上映することで、映像文化に親しむ機会を提供するとともに、ライブラリー教材の利用促進を図ります。

同内容の映画会を午前と午後に行います。

- 1 日時 「ファミリー映画会」開催日以外の土・日曜日及び祝祭日  
①11:00～ ②14:00～
- 2 会場 県民交流センター6階 映画シアター

#### <申込み及び問合せ先>

かごしま県民大学中央センター学習情報係（電話 099-221-6606）  
<http://www.kagoshima-pac.jp/jp/center/info/shogai/index.html>

## 【県立奄美少年自然の家】

### 「第8回オープンデー」

スポーツ・レクリエーション、クラフト活動などに親しんでいただくことを目的として、年間9回施設を開放する事業です。

今回は、黒糖作りとチャレンジランニングです。

- 1 期日 1月22日（土）  
【午前の部】10:00～12:00  
【午後の部】13:00～15:00

2 場所 県立奄美少年自然の家

※ 事前申込みの必要はありません。



#### <申込み先・連絡先>

県立奄美少年自然の家  
TEL : 0997-53-1032

## 【県立奄美少年自然の家】

### 「奄美<sup>ティダヌクワ</sup>太陽の子チャレンジキャンプ」 ～第3回 耐寒！ウィンターキャンプ～

春・夏・冬の年3回シリーズのチャレンジキャンプで、その3回目です。アウトドアの達人をめざすことを目的として実施する事業です。

- 1 日時 1月29日(土)・30日(日) 1泊2日  
29日10:00集合, 30日16:30解散
- 2 内容 【29日】アイスブレイキング, テント設営, サトウキビの収穫・搾り, 野外炊さん(寄せ鍋作り等), 天体観察, テント泊  
【30日】簡単ホットドッグ作り, 黒糖・黒糖菓子作り, テーチギ・フクギの草木染め
- 3 場所 県立奄美少年自然の家
- 4 参加料 一人: 2500円(食費, 傷害保険料等)
- 5 申込み 各学校に配布してある申込書またはホームページに掲載してある申込書に必要事項を記入し, 1月22日までに自然の家へ直接郵送してください。  
〒894-0043 奄美市名瀬朝仁字赤崎 1096-2  
県立奄美少年自然の家



### 「ハアサキ成人講座」 ～奄美ならではの染め物を楽しもう～

心の豊かさと学ぶ意欲にあふれる生涯学習社会の実現を目指して、ライフステージに応じた学習活動ができるようサポートする事業です。

今回は, フクギ, テーチギ, 藍の多色染めテーブルクロスになります。

- 1 日時 1月15日(土)  
13:00～13:30 受付  
13:30～16:00 講座
  - 2 場所 県立奄美少年自然の家
- ※ 1月11日までに, 電話で直接申し込んでください。  
なお, 材料代として, 1,500円が必要になります。

### 「天体ドーム開放」 ～冬の夜空を観察しよう～

12月から3月までの期間, 地域の方々に天体ドームを開放し, 星空の観察を通して宇宙への興味を広げてもらうことを目的とした事業です。

1月は, 2回の開放を計画しています。

- 1 期日 1月14日(金)  
1月21日(金)  
第1部 18:00～ 第2部 19:30～
- 2 場所 県立奄美少年自然の家
- 3 内容 14日: 木星やオリオン座大星雲を見よう  
21日: アンドロメダ大銀河を観察しよう



- ※ 事前申込みの必要はありません。
- ※ 寒くない服装でお越しください。

＜申込み先・連絡先＞  
県立奄美少年自然の家  
TEL: 0997-53-1032

## 【鹿児島県上野原縄文の森】

### 第29回企画展 「古代アクセサリの魅力」

縄文時代から古墳時代にかけての古代人のアクセサリに焦点を当て、起源や種類などを紹介します。県内の出土品をはじめ、佐賀県から出土したガラス製管玉など、美しい古代の装飾品を展示します。

- 1 日時 好評開催中  
～3月21日(月)  
9:00～17:00
- 2 場所 上野原縄文の森  
展示館 企画展示室
- 3 入場料 小・中学生 150円、高・大学生 210円  
大人 300円 (20名以上は団体割引有り)



### 第29回企画展講演会

- 1 日時 1月29日(土)  
13:30～15:00
- 2 場所 上野原縄文の森 展示館多目的ルーム
- 3 講師 熊本大学 文学部 木下 尚子教授

〈申込み・お問い合わせ先〉

鹿児島県上野原縄文の森  
霧島市国分上野原縄文の森1番1号  
TEL:0995-48-5701 , FAX:0995-48-5704  
E-mail: uenohara@jomon-no-mori.jp

### どんぐりイベント 「節分を楽しもう(工作、恵方巻作り、お菓子まき)」

みんなで豆まきして、鬼を追い払おう！そして、恵方巻を食べて、幸せを願います。

- 1 日時 1月29日(土)  
10:00～14:00
  - 2 場所 上野原縄文の森  
体験広場等
  - 3 参加費 一人 300円
- ※ 本イベントはボランティアグループ「どんぐり倶楽部」の主催です。



### 考古学講座 第5回「縄文から弥生へ」

縄文時代の終末(晩期)と、弥生時代の始まりの様相を紹介します。

- 1 日時 2月5日(土) 13:30～15:00
- 2 場所 上野原縄文の森 展示館多目的ルーム
- 3 定員 一般 80名
- 4 資料代 一人 100円